

# 450億円の税金投入！桜町再開発・熊本城ホールは誰のため？

## 景観条例違反の高層マンションで、民間事業者は大儲け

### 「公益性」と言えないホテル・マンションが景観を阻害

「公益性」とは言えないホテルやマンションが景観を阻害しています。特にマンション部分は、熊本城を目の前にした一等地の利便性に優れた高級マンションとして売り出され、最上階・プレミアムフロアは、最高1億6200円、最低でも1億800万円という破格の値段です。景観条例違反となる上層階が、販売利益を膨

らませています。「公益性」を理由に景観条例の例外適用を認めるのであれば、マンションやホテルなどの営利施設は高さを下げるべきです。

450億円もの税金をつぎ込む桜町再開発は企業の利益優先ですすめられ、市民の大切な財産である景観を民間企業に売り渡しています。

### 税金丸抱えで、地元雇用は不透明

再開発事業の商業部分にどの程度の地元企業が参入してくるのか、再開発ビル全体でどの程度の地元雇用が見込めるのか、そのうち正規職員として何人雇用されるのか、熊本市が整備する熊本城ホールの地元雇用はどうなるのか、全く見通しが示されません。

### 危険なゼネコン「大成建設」

桜町再開発を受注した大成建設は、高浜原発の巨大クレーン倒壊事故、「新国立競技場」建設現場での過労自殺、神奈川県庁新庁舎建設現場の転落死亡事故など、次々と重大事故を起こしています。コスト圧縮による慢性的な人手不足も指摘され、「危険なゼネコン」と報道されています。事業費の6割が税金の桜町再開発、重大事故が起きないように、市も申入れるべきです。

### 利用料が高くて、市民が利用できない熊本城ホール

可動750席の多目的ホールは、終日利用で最低27万3000円、最高49万1400円で、市民会館大ホール（1591席）の2倍、森都心プラザホールの5～6倍、解体された産業文化会館（700席）の4～5倍の料金です。

2300席のメインホールも、最低

72万8000円、最高131万400円で、市民会館大ホールや県立劇場コンサートホールの3～4倍、福岡国際会議場メインホール・多目的ホール一体利用（3000人）の約2倍です。多目的ホールも、メインホールも一般市民が利用できるような料金設定ではありません。

## お知らせ 無料 弁護士による法律相談のご案内

毎月定例で無料の法律相談を行っています。どなたでもご利用できます。震災に関わる法律相談も含め、ぜひご利用ください。

「事前予約制」です。ご希望の日時に電話予約をお願いします。

- 10月12日（木） 11月9日（木） 予定 午後1時～4時  
菜の花法律事務所（江越1-17-12） Tel 322-7731
- 10月18日（水） 午後2時～4時  
中央区生活相談所（大江5-15-20） Tel 375-2200
- 10月23日（月） 午後6時～8時  
北区生活相談所（武蔵ヶ丘1-10-1） Tel 338-2001
- 10月24日（火） 午後3時～5時  
東区生活相談所（新生2-5-18） Tel 328-2656
- 10月26日（木） 午後1時30分～4時  
山本のぶひろ渡鹿生活相談所（渡鹿5-19-7） Tel 362-5181

日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団  
上野みえこ なすまどか やまべひろし

熊本市中央区手取本町1-1 議会棟

NO. 1067  
2017年10月8日号  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
ホーム：共産党熊本市議団 [検索](#)



# 北口議員の不当な圧力に脅え、 「特別扱い」を続けてきた執行部

## 9月21日「北口和皇議員の不当要求にかかる特別委員会」開催

### 【審議された事案】

- ① パチンコ店建設現場から白濁水が水路に流れているとの北口議員の通報によって、複数局の職員が議員控室に何度も呼ばれ、長時間にわたり、大声で叱責され、不当な要求をされた。(都市建設局)
- ② 地籍調査にかかる官民境界等先行調査の事前説明会において、自治会長・大農区長・土地改良区理事等を務める北口議員が、官民境界調査に直接関係のない問題を要求し、説明会の円滑な開催が妨害した。(都市建設局)
- ③ 水路の用途廃止による払い下げに関し、関係部局の職員を20名以上も議会棟特別応接室に呼び、長時間にわたり、強い口調で不満を繰り返した。(都市建設局)
- ④ 出水の水路設計業務の地元関係者説明会を、北口議員の一方的な私情で突然中止させた。中央区長を自宅へ呼び出したにもかかわらず、面会拒否。説明会出席者に資料を配布したことも、電話で怒鳴りつけた。(中央区役所)
- ⑤ 外部への貸出しをしていない福祉センター調理室をねんりんピックを理由に借りたが、衛生上のルールを守らず報道陣を入室させようとした。それを制止しようとした職員を大声で叫ぶなど強い口調で、2～3時間にわたり叱責。(中央区役所)
- ⑥ 中央区役所窓口で、北口議員の母親の印鑑登録・証明書発行に関し、十分な説明を行い、了解を得て手続きを行ったにもかかわらず、市が勝手にやったと言いがかりをつけ、窓口が騒然となるくらいに職員を強い口調で1時間近く叱責した。

### 北口議員の要求を断ると、他の業務にまで影響

いずれの事案でも、不当な要求であっても、断ると他の業務にまで影響が出るために、北口議員の言うがままに「特別扱い」を続けてきたことがはっきりしてきました。

委員会では、北口議員が市長任命の役職も依然続けていることから、議会で辞職勧告を2度も受けた議員を市長が任命しているのは問題であると指摘しました。

# 立野ダム、大丈夫？ しっかり説明を！ 流域から住民の声次々と

立野ダムを考える住民有志のつどいー中央区渡鹿に続いて、北区龍田でも

5年前の九州北部豪雨で白川が氾濫し、甚大な被害を受けた北区龍田地域で先月30日、「白川の安全と立野ダムを考えるつどい」が開かれました。

住民有志の主催によるこの会には30人以上が参加し、「立野ダムによらない自然と生活を守る会」の緒方紀郎事務局長、南阿蘇在住の医師、松本久さんが講演しました。

緒方さんは、5年前、龍田陳内流域を飲み込んだ濁流被害をスライドで説明。「氾濫したのは河川改修が未整備であった流域であり、現在ではダムが必要ないくらい整備が進んでいる」とし、一方で「国はダムの安全性について、公開質問状も含めて住民に説明責任を果たしていない」と訴えました。

松本さんは、「ダムの最大受益地である、この熊本市から声をあげてほしい」と話しました。

と話しました。

参加者からは「立野ダム問題のまとまった話を聞くのは初めて。ためになった」「5年前の水害がダム建設の口実に使われているのは、流域住民として大変心外だ」等の声が寄せられました。



■会場  
9月30日  
熊本市北

### 中央区渡鹿の住民集会では、住民説明会を求める要望書も

北区に先がけて8月に「つどい」を開いた中央区渡鹿では、元自治会長などが呼び掛け人となり「住民の会」が発足しました。

会では、国に住民説明会開催を求め

る要望書を作成しています。

今後も白川流域の各自治体から住民の声をどんどんあげていくことが必要です。

**おでかけください！**

阿蘇ジオパークを立野ダムでこわさないで！

「立野ダム工事を一旦中止し県民に説明を！」 **県民総決起集会**

**10月28日(土) 午後7時 森都心プラザ 5F ホール**